

学校名 [桜丘小学校]

氏名 [松浦 武雄]

[小] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [ちゅうい!家のまわり 学校のまわり] P30~31

教科・領域名 [生活] [時間 45分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

目指す児童の姿

◆災害時の自分の身の守り方を考えることができるようにする。

- 1 「希望の道」を歌う
 - ・歌詞の内容の説明
 - ・「あの日」とは、いつを指すのか
- 2 東日本大震災について知る
 - ・簡単に東日本大震災の様子を説明
 - ・写真を見て感じた事を話す

3 地震の経験について話す

地震にあったことがありますか。その時にどんな気持ちになりましたか。

- ・どんな気持ちだったか、その時にどんな行動をとったのかを話す

4 地震などの災害時にどんな危険があるか考える。

イラストや写真を見て、どんな危険がありますか。

- ・p 30～p 31 のイラストを使い考える

学校に来るまでの道に、危険な所はありますか。また、学校や教室の中はどうですか。

- ・教室や学校、通学路で考える

5 自分にできる身の守り方を考える

地震にあった時に、どのようにして身を守ればいいですか。

6 わかったこと、感想を書く

【児童反応】

イラストを参考にして、通学路や教室の中の危険な所を考えることができた。

- ・防災副読本
- ・「希望の道」歌詞

- ・防災副読本 P 4～P 7

児童に与える影響を考慮して、副読本の写真を見ながら、大きな地震があった事を簡単に説明。



- ・防災副読本 P30

P30 のイラストを見ながら、危ないと思うところを発表。多くの児童が危険箇所に気付く。



【児童の感想から】

- ・地震がきた時に、近くに大人がいたら、その人の指示を聞く。
- ・ランドセルで頭を守ることがわかった。
- ・地震がきても、あせらないで自分を守ることがわかった。
- ・周りの安全に注意して、自分を守ることがわかった。